

検査器具について

- ・以下の検査器具は京都府総合教育センターにてご覧いただけます。
- ・種類や用途によっては貸出しも可能ですので、希望される場合は特別支援教育部まで御相談ください。
(貸出しは[原則検査を実施する場合](#)に限られます。)

検査名	説明
WISC-V (ウィスク・ファイブ) 知能検査	ウェクスラー児童用知能検査 WISC の最新日本版です。 5歳0カ月～16歳11カ月の子どもの知能を測定する個別式の包括的な臨床検査であり、特定の認知領域の知的機能を表す5つの主要指標得点 (VCI、VSI、FRI、WMI、PSI) と全般的な知能を表す合成得点 (FSIQ)、子どもの認知能力や WISC-V の成績について付加的な情報を提供する5つの補助指標得点 (QRI、AWMI、NVI、GAI、CPI) を算出し、子どもの知的発達の様相を多面的に把握することができます。 ※WISC-IVもあります。
新版 K 式発達検査 2020	新版 K 式発達検査 2020 は、新版 K 式発達検査 2001 の改訂版 (再標準偏差化) で、0歳から成人までを対象とする検査法です。 「姿勢・運動 (P-M)」、「認知・運動 (C-A)」、「言語・社会 (L-S)」の3つの領域に関して子どもの発達の状態を測定し、発達年齢 (DA: Developmental Age) と発達指数 (DQ: Developmental Quotient) を算出します。生活年齢 (CA) によって検査用紙が異なります (第1葉から第5葉)。
ITPA 言語能力診断検査	対象年齢は3歳0ヶ月～9歳11ヶ月。「聴覚-音声、視覚-運動」の2つの回路、「受容、連合、表出」の3つの過程、「表象、自動」の2つの水準からなる臨床モデルに基づき、子どもの言語学習能力を測定します。全体的な発達のレベルを知るだけでなく「固体内差」を測定するのが特色で、子どもの発達の様相を多面的にとらえます。LD(学習障害)や言葉の発達に遅れのある子どものアセスメントや支援に有効です。
K-ABC II	対象年齢は2歳6ヶ月～18歳11ヶ月。 学習支援を目的として「認知尺度 (認知処理力)」だけでなく「習得尺度 (基礎学力)」も測定できる検査です。 8つの尺度を数値化し、得意、不得意を見つけることで、どのような勉強方法が合っているのか検討し、指導・支援に繋げることができます。 問題掲示板を使用するため、マニュアルなしで実施できます。
DN-CAS 認知評価システム	対象年齢は5歳0カ月～17歳11カ月。「プランニング」「注意」「同時処理」「継次処理」の4つの認知機能の側面から子どもの発達の様子を捉えることができます。言語的知識や視覚的知識にあまり頼らずに認知活動の状態を評価できるよう工夫されているため、新しい課題に対処する力を見るのに適しています。12種類の下位検査を行う標準実施を基本として、8種類で行う簡易実施も可能です。

検査名	説明
<p>標準読み書きスクリーニング検査 (STRAW-R)</p>	<p>小学1年生から高校3年生までを対象とした文字の読み書きの正確性を調べる検査です。</p> <p>ひらがな、カタカナ、漢字の3種類の表記について比較でき、どの表記から練習すればよいかの指標が得られます。速読課題では文章課題を含んでおり、高校や大学入試で試験時間の延長を希望する際の客観的資料にもなります。</p>
<p>URAWSS II</p>	<p>小中学生を対象とした読み書きの速度を評価する検査です。読み書きの困難さがどこから来ているのかを明らかにし、支援できる方策に結びつくような結果の解釈を行います。必要に応じて読み書き困難を補う方法を検討するための介入課題を実施することができます。読み課題では代読の効果を検討したり、書き課題では、手書きと様々な書字の介入手段の違いを比較したりすることができます。</p>
<p>読みのアセスメント・指導パッケージ (多層指導モデルMIM)</p>	<p>対象は小学校低学年。</p> <p>促音、長音、拗音といった特殊音節に焦点を当て、文字や語句を正しく読んだり書いたり、なめらかに読んだりできることを目指すパッケージです。正確で素早い語の読み能力を把握するアセスメントと効果的な指導を進めていくための指導法や教材(絵カード、プリント等)が収められています。</p>
<p>WAVES 「見る力」を育てるビジョン・アセスメント</p>	<p>「見え」の困難が疑われる子どもたちに対して、「見る力」のもとになっている視覚関連基礎スキルの3領域(視知覚、目と手の協応、眼球運動)を10種類の下位検査でアセスメントし、視知覚上の発達課題を明らかにする検査キットです。弱点を克服するためのトレーニングドリルがセットになっています。検査はマニュアルどおりに行えば、専門的知識がなくてもできるように工夫されています。</p>
<p>CARD 包括的領域別読み能力検査</p>	<p>小学1年生から6年生までを対象とした読み能力検査です。「読み」につまずきを抱えている子どもをピックアップし、支援に向けてその状態を把握することを目的としています。</p> <p>問題集(文の問題・ことばの問題)とガイドブック付属の音声CDを使って検査を行います。</p> <p>集団または個人のどちらにも使えます。</p>